




冬期のオリーブ作業

②石灰

オリーブの本場は石灰岩地帯



- 石灰は土壌のpHを高め、アルカリ性に近づけます
- 日本の土壌の多くは酸性です
- オリーブの栽培が盛んな地中海周辺では石灰岩地帯が多く、オリーブはアルカリ性を好みます
- 目安量より多少多い施用でも問題ありません
- 苦土を含む苦土石灰を使用することで、マグネシウムも補給出来ます

②石灰前後2週間以内に
①堆肥③肥料を散布すると
有害なアンモニアが発生してしまいます 

施肥時期	2月中旬～下旬、前後に散布した①堆肥、③肥料と2週間程度空けるようにする
資材名	苦土石灰：苦土はマグネシウムのこと
施肥量	植え付け時 1本辺り 3kg 植え付け1～3年 1本辺り 1kg 植え付け4～9年 1本辺り 1.5kg 植え付け10年以上 1本辺り 2kg
散布方法	枝の外縁に沿って散布する。(5ページ図を参照) 生育中の根の先端が枝の外縁と同じ程度の位置
効果	土壌の酸度の矯正、マグネシウムの補給 オリーブはアルカリ性を好む。目安はpH6.5以上

